

富士河口湖町立 教育センターだより

No. 21



平成29年2月3日 文責 遠山 榮子

管外視察研修 富士宮市 富士山学習 PART II 発表会



1月28日(土)静岡県富士宮市文化ホールにおいて、第19回富士山学習発表会が行われました。平成25年度の第16回より、教育センター管外視察研修として参加しています。今回は16名の参加がありました。今年度は、大石小で行われた富士山学習の授業公開にも富士宮市の教育委員会の参観があるなど、交流も生まれてきています。

「富士山を心に、夢をもって生きる子ども・知りたいことを共に学ぶ旅」を大テーマに、当日の午前中は、31校が各会場に分かれプレゼンテーション発表、午後は4校がステージ発表で、富士宮市の小・中学校35校がいずれかの場で発表を行いました。

本年度は、富士山学習をとおして、「話す力」「聴く力」に加え、「コーディネート力」の育成にも取り組んできたそうです。すべての学校が、学びの過程にそって、1年生から系統的に学習を進め、日々の学習の場で、子ども達が様々な力を鍛えられてきていることを強く感じました。

午後は、3つのステージ発表を見ました。課題設定、課題追求、新たな疑問、新たな課題、課題解決、発信、評価、まとめという一連の活動が、子ども達・先生・かかわった地域の方々が実際に登場する中で劇化され、学びの過程もよく伝わりました。「用水でつながるわたしたちの芝富」の発表は、「新倉掘抜」の研究授業と共通する部分があり、興味深く見させていただきました。

発表後、大ホールでは、富士河口湖町から来ていることが紹介され、見学者を代表して教育センター所長の古屋先生が感想発表を行いました。なお、学期末のお忙しい中ですが、各学校で、何らかの形で参加して下さった先生方から視察研修の還流報告をしていただくことができれば、本町における富士



山教育の実践が一層進められるのではないかと思います。

第5回研究会(富士山学習研究会)

日時 2月21日(火) 3:50~

場所 中央公民館 視聴覚室

内容 今年度の反省について

研修 富士山教育について

「富士山教育を通して地域に誇りをもつ子どもたちに」

講師 吉田小学校 梶原 拓也先生

